

令和2年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

希望が丘地区では、老人会などに代表される「顔の見える場所」が少なく、高齢者の活動場所の創設、又はきっかけづくりが必要であり、それに向けた地域住民の動きの支援を行うことが必要と考えます。希望が丘南地区では、駅からの距離や生活資源の少なさが生活の不便さに直結しており、住民同士の支え合いの仕組みづくりや、移動販売の拡充などの取組を地域生活に定着させていく事が必要です。両地区とも、住民の福祉に対する理解は深く、福祉活動に関心のある地域です。世代間でその風土を引き継ぐことも重要な課題の一つです。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> | ■ | 昨年度、希望が丘地区の自治会長等に地域福祉アンケートについてヒアリングを行った。アンケート結果から読み取る課題の認識には各自治会ごとに違いがあったため、各自治会の課題をすべて把握することはできなかった。今年度より今まで定期的に参加していなかった連合自治会の定例会に参加してもらい、関係の薄い自治会 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 住民主体のボランティア団体の定例会や集まりに顔を出すとともに、連合自治会や地区社協などの定例会に参加をさせてもらい、さらなる地域課題の把握と地域作りに主体的に関わる住民等と円滑なコミュニケーションをとれるような関係づくりを目指す。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 年齢や、障害種別は問わず地域にお住いの方を対象に事業を実施し、活動の場の提供や地域との交流が図れることをねらいとする。
高齢分野ではミディ、歌声喫茶(閉じこもり防止)、ゆったり体操(介護予防)や介護者の集い(介護上の悩みを話す場)を継続して実施していく。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 登録団体説明会において、福祉保健活動について説明を行い、利用団体に対して個別に活動の紹介を促し、ボランティア活動や地域貢献活動につなげていく。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 地域住民・団体・事業者に対してSOSネットワークの周知と加入協賛店の拡大を図り、地域の見守り体制を構築していく。介護者支援の場として介護者の集いの実施。認知症カフェやきぼカフェ等との連携を通し当事者と家族の身近な相談の場づくりの支援を行う。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和2年度は年度初めに緊急事態宣言が発令されていたため、地域住民や関係機関との連携が非常に困難な状態の幕開けであり、方法を探りながら地域福祉の拠点としての役割を果たすよう、創意工夫の年度であった。定例会など、大人数で集まる内容は中止や書面開催などで形を持ち対応するなど、ケアプラザ職員だけでなく、地域で活動している住民活動にも様々な工夫があった。しかし、個別ケースでは距離をとるべき時と、介入するべきタイミングを、専門職と地域住民の間でとることができていたのは、日常的なつながりが生きていると感じた。コロナに対する対策はすでに長期化しており、引き続き適切な予防対策を講じながら地域福祉の拠点としての役割を果たせるよう次年度につなげたいと考えている。特に、高齢者、障害児者への日常の楽しみなどの時間や企画は福祉的なつながりには必須であることがわかり、次年度の課題としたいと考えている。

区からのコメント

・圏域内自治会の定例会に参加することで、今までつながりが薄かった自治会と新たな関係ができました。また、相談から見えてきた地域課題等に対して、地域ケアプラザ機能を活かした支援の検討を進めています。コロナ禍でもあり、アプローチ方法や取組の進め方等には慎重さも求められますが、今後地域と協働した取組の実現、発展を期待しています。
・コロナ禍で制約があるなかで、困難ケースに対しても細やかな見守りや働きかけを行っています。日頃の個別ケースの対応の積み重ねを地域ケア会議等で地域の課題として検討し、更なるネットワーク構築を進めていくようお願いいたします。引き続き、区、ケアプラザで連携しながら対応にあたっていきたいと思っております。
・昨年度開始した移動販売が、自粛要請の中、地域の重要な買い物手段として継続できるよう支援しており、今後も地域の課題解決をお願いします。

令和2年度 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	相談援助の際のサービス決定に関しては、利用者の選択を常とし、紹介するサービスに関しては公正中立になるように実施します。	個人情報保護に関してマニュアル遵守の徹底をいたします。また全職員への研修実施をします。コンプライアンスについては、福祉従事者としての職業倫理及び求められる社会規範の遵守を個人個人が自発的に行動につなげる事ができるよう、研修や日頃の指導の中で職員育成を図ります。
実績	利用者本人が選択、自己決定しやすいよう公正中立を保ちながら、情報提供や見学の調整等を実施しています。	研修実施、マニュアル遵守に努めましたが、今年度、事故報告案件が発生致しました。検証・分析をおこない再発防止の遵守に努めます。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1.2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成し、作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるような明確な目標設定を行い、行動意欲を高め、本人の主体性を尊重したケアプランの作成を行います。また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行います。	要支援・要介護認定を受けた方を対象に居宅介護支援を提供します。地域包括支援センター併設の事業所として、地域・医療機関との連携を強化し、誰もが自分らしく生活できる地域作りに貢献します。コンプライアンスの徹底を行い、公正中立なサービス提供を行います。
職員体制	管理者 保健師等 1名(常勤兼務) 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務)	管理者・介護支援専門員 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 2名(常勤専従)
契約者数	契約者数 183名	契約者数 130名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,444,617	100,000	19,544,617	19,544,617	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	73,050	△ 73,050	
雑入	0	0	0	20,660	△ 20,660	
印刷代			0	10,100	△ 10,100	
自動販売機手数料			0	10,560	△ 10,560	
その他			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
収入合計	19,444,617	100,000	19,544,617	19,638,327	△ 93,710	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,698,443	0	10,698,443	9,307,315	1,391,128	
本俸	8,373,443		8,373,443	6,849,107	1,524,336	
社会保険料	1,158,000		1,158,000	783,488	374,512	
手当計	1,047,000		1,047,000	1,561,982	△ 514,982	
健康診断費	50,000		50,000	23,100	26,900	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	70,000		70,000	16,693	53,307	
その他			0	72,945	△ 72,945	
事務費	2,616,431	0	2,616,431	1,950,875	665,556	
旅費	35,000		35,000	7,527	27,473	
消耗品費	300,000		300,000	212,215	87,785	
会議備い費			0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	36,167	23,833	
通信費	450,000		450,000	595,708	△ 145,708	
使用料及び賃借料	0	0	0	10,560	△ 10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	10,560	△ 10,560	
その他			0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	296,340	3,660	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	0	30,000	
職員等研修費	50,000		50,000	10,086	39,914	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	50,000		50,000	32,340	17,660	
手数料	10,000		10,000	770	9,230	
地域協力費			0	0	0	
その他	1,321,431		1,321,431	749,162	572,269	
事業費	937,667	0	937,667	191,104	746,563	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	895,667		895,667	191,104	704,563	
その他			0	0	0	
管理費	3,648,232	0	3,648,232	2,621,038	1,027,194	
光熱水費	1,842,491		1,842,491	1,819,002	23,489	
清掃費	500,000		500,000	163,574	336,426	
機械整備費			0	0	0	
設備保全費	1,045,000	0	1,045,000	358,939	686,061	
空調衛生設備保守	55,000		55,000	22,400	32,600	
消防設備保守	170,000		170,000	72,721	97,279	
電気設備保守	300,000		300,000	163,331	136,669	
害虫駆除清掃保守	70,000		70,000	29,555	40,445	
駐車場設備保全費	150,000		150,000	70,932	79,068	
その他保全費	300,000		300,000	0	300,000	
共益費			0	0	0	
その他	260,741		260,741	279,523	△ 18,782	
修繕費	474,000		474,000	450,231	23,769	
公租公課	1,069,844	0	1,069,844	930,731	139,113	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,069,844		1,069,844	930,731	139,113	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他		100,000	100,000	114,040	△ 14,040	Wi-Fi設備費
支出合計	19,444,617	100,000	19,544,617	15,565,334	3,979,283	
差引	0	0	0	4,072,993	△ 4,072,993	

自主事業費 収入	853,667	0	853,667	73,050	780,617
自主事業費 支出	895,667	0	895,667	191,104	704,563
自主事業 収支	△ 42,000	0	△ 42,000	△ 118,054	76,054

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,533,638	0	23,533,638	23,533,638	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,801,509	0	5,801,509	5,801,509	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	1,156,000	0	1,156,000	10,560	1,145,440	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	10,560	△ 10,560	
その他	1,156,000		1,156,000	0	1,156,000	
その他	0		0	0	0	
収入合計	30,645,147	0	30,645,147	29,499,707	1,145,440	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,915,313	0	26,915,313	25,343,717	1,571,596	
本俸	18,989,313		18,989,313	14,855,228	4,134,085	
社会保険料	3,760,000		3,760,000	3,373,892	386,108	
手当計	3,860,000		3,860,000	6,402,263	△ 2,542,263	
健康診断費	60,000		60,000	24,875	35,125	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	246,000		246,000	457,038	△ 211,038	
その他			0	230,421	△ 230,421	
事務費	1,425,824	0	1,425,824	1,079,277	346,547	
旅費	30,000		30,000	9,740	20,260	
消耗品費	80,000		80,000	44,040	35,960	
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費	45,000		45,000	28,580	16,420	
通信費	130,000		130,000	42,425	87,575	
使用料及び賃借料	0	0	0	10,560	△ 10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	10,560	△ 10,560	
その他			0	0	0	
備品購入費	120,000		120,000	0	120,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	50,000		50,000	37,810	12,190	
振込手数料	10,000		10,000	5,500	4,500	
リース料	50,000		50,000	32,340	17,660	
手数料	10,000		10,000	770	9,230	
地域協力費			0	0	0	
その他	900,824		900,824	867,512	33,312	
事業費	1,208,279	0	1,208,279	636,783	571,496	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	109,279		109,279	48,562	60,717	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	141,783	12,217	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	236,438	78,562	
その他			0	0	0	
管理費	969,731	0	969,731	696,725	273,006	
光熱水費	614,472		614,472	483,532	130,940	
清掃費	90,000		90,000	43,480	46,520	
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	196,000	0	196,000	95,410	100,590	
空調衛生設備保守	26,000		26,000	5,954	20,046	
消防設備保守	40,000		40,000	19,330	20,670	
電気設備保守	60,000		60,000	43,415	16,585	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	7,856	22,144	
駐車場設備保全費	40,000		40,000	18,855	21,145	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他	69,259		69,259	74,303	△ 5,044	
修繕費	126,000		126,000	119,679	6,321	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	30,645,147	0	30,645,147	27,876,181	2,768,966	
差引	0	0	0	1,823,526	△ 1,823,526	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	578,279	0	578,279	426,783	151,496	
自主事業 収支	△ 578,279	0	△ 578,279	△ 426,783	△ 151,496	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1,614	5,802	-4,188	2,886	4,709	-1,823	16,777	19,410	-2,633			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	223	281	-58	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	介護予防マネジメント			0			0	223		223			0			0
				0			0		281	-281			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	1,614	5,802	-4,188	2,886	4,709	-1,823	17,000	19,691	-2,691	0	0	0	0	0	0
支出	人件費		4,073	-4,073			0	15,394	15,211	183			0			0
	事務費	57	36	21	100	143	-43	666	501	165			0			0
	事業費		206	-206			0	100	64	36			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	415		415	737	0	737	550	1,109	441	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他	415		415	737		737	550	1,000	550			0			0
	支出合計(B)	472	4,315	-3,843	837	143	694	16,710	16,885	825	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	1,142	1,487	-345	2,049	4,566	-2,517	290	2,806	-3,516	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業
- 2: 地域包括支援センター運営事業
- 3: 生活支援体制整備事業
- 4: 共催 (1と2)
- 5: 共催 (1と3)
- 6: 共催 (2と3)
- 7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
- 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者
- 2: 障害児・者
- 3: 養育者及び乳幼児
- 4: 子ども・青少年
- 5: 地域
- 6: 事業者
- 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	シニアサポーターひまわり	平成25年度	6: 共催 (2と3)	2: 発展させるねらい	地域活動の介護予防ボランティアの一員として、活動できるスキルを学ぶことで、自分たちの生きがいや地域の担い手になっていく気持ちを育むように、地域支援センターと生活支援コーディネーターが協働して支援を行います。	1: 高齢者		「元気づくりステーション 南希の森」継続支援に向けて活動内容や自分たちから出来るレクリエーションを身に付けることができよう継続支援していきます。また、介護予防教室開催に向けて、ボランティア活動ができるスキルが身につくよう支援していきます。年8回程度	5	37
2	GoGo健康！ 体を鍛えて若返りましょう	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が、介護予防の知識を楽しく学び、また、地域の人と触れ合うことで生活の張りが生まれる教室を開催します。	1: 高齢者		講座の初回に体組成計による計測を実施し、ご自身の体を客観的に知っていただき運動を行うとともに、栄養面や口腔機能の向上、認知症予防にも取り組んでいただき、最終回に再度計測を実施し、運動などの効果を感じていただきます。全11回4月・8月・2月を除く	10	72
3	元気づくりステーション 南希の森	平成25年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って後方支援を行っています。また、参加者がより一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1: 高齢者		元気づくりステーション「南希の森」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週火曜日 10時～11時半	13	167
4	元気づくりステーション「ヒルズのわ」	平成27年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って後方支援を行っています。また、参加者がより一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1: 高齢者		元気づくりステーション「ヒルズのわ」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日 10時～11時半	16	228
5	元気づくりステーション「ホープの友」	平成28年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って後方支援を行っています。また、参加者がより一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1: 高齢者		元気づくりステーション「ホープの友」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日 14時～15時半	16	178
6	元気づくりステーション「中の原の和」	平成30年度	6: 共催 (2と3)	1: 優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って後方支援を行っています。また、参加者がより一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1: 高齢者		元気づくりステーション「中の原の和」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。第1・3月曜日 14時～15時半	10	71
7	Dandy Kitchen ～ふれあい子ども食堂～	平成28年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子どもの居場所支援、孤食支援、学習支援および地域の大人との顔の見える関係づくりを目的とします。	4: 子ども・青少年		16時～17時30分まではフリータイム、17時30分～食事の提供を行います。長期休暇時は一日を通して開催し、自由研究や書初めなどの宿題のお手伝いをします。年12回 毎月第2木曜日16時～18時30分 長期休暇時の8月と12月は9時～17時	0	0
8	子育てサロン mam-mam	平成26年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	0歳児から未就園児の親子を対象に親子の交流の場と、ママ同士の交流、ヨガをすることでママのリフレッシュを図ることを目的とします。	3: 養育者及び乳幼児		・前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。 ・イベントや行政との共催事業なども行います。 ・地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、子どもの見守りのボランティアをしていただきます。 ・年10回 毎月第1木曜日10時～11時30分	6	77
9	親子のフリースペース	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的とします。	3: 養育者及び乳幼児		・親子のフリースペースとして多目的室を開放します。 ・年12回 毎月第3月曜日10時～11時30分	9	27
10	みんなの学習室	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方や中高生の学習する場や居場所の提供を目的とします。	5: 地域		・地域ケアルームとボランティアルームを学習室として開放します。 ・毎月第1第3火曜日および第2第4月曜日 18時～20時	22	1
11	歌声喫茶	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民(主に中高年)を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的とします。	5: 地域		・アコーディオンの演奏に合わせて、合唱を行います。 ・参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していけるよう事業を進めていきます。 ・年12回 毎月第1土曜日10時～12時	0	0
12	ふらっとサロン	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民に交流の場と、ボランティア活動の場を提供することを目的とします。	5: 地域		・手作りのお菓子と飲み物を用意し、お茶を飲みながら交流のできる場を提供します。 ・ケアプラザ新聞やチラシ等で広く周知を行い、小さいお子さん連れや、障害のある方にも参加していただけるよう事業を実施します。 ・年23回 毎月第2第4日曜日13時～15時30分	17	64

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
- 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
- 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
- 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
- 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
- 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	ゆったり体操教室	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とします。	1: 高齢者		・イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分行います。 ・年24回毎月第2水曜日10時～11時30分	20	117
14	登録団体説明会	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザを利用されている団体向けに、部屋貸し利用についてや、緊急時の避難経路について理解を図ることを目的とします。	5: 地域		・貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路、福祉保健活動について説明を行います。 ・日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。 ・年1回	3	48
15	ボランティアの集い	平成21年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ事業等で活動されているボランティアを対象に、日頃の活動の感謝を伝えると共に、ボランティア同士の交流を目的とします。	5: 地域		・様々な事業等で活動されているボランティア同士の交流が図れるよう実施します。 ・ボランティアに関わる職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。 ・年1回	1	19
16	みんなで大掃除会	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5: 地域		・日頃使用している部屋の清掃をしていただきます。 ・調理室を利用している団体には、6月に大掃除をしていただきます。 ・年2回 6月12月	0	0
17	ケアプラザ祭り	平成23年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	日頃の感謝の気持ちを込めて開催します。ケアプラザを利用していない地域の方にも、ケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくことを目的とします。	5: 地域		・子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けます。 ・ボランティア活動の場の提供を行います。 ・年1回 10月31日	0	0
18	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成23年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	65歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを目的とします。	1: 高齢者		・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を実施します。 ・ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始める方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行います。 ・年1回 開催時期未定	1	4
19	南希望が丘地域ケアプラザエリア地域防災拠点連絡会	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	ケアプラザのエリアにある3つの地域防災拠点と連携して、災害時における障害児者の防災拠点での受け入れや、対応方法について具体的な取組や仕組みづくりを行うことを目的とします。	5: 地域		・地域防災拠点や地域の関係団体と連携して、課題の共有や検討を行い、具体的な取組や仕組みづくりにつなげます。 ・避難所ヘルプカードを作成し、広く地域へ周知し、地域にお住まいの障害児者へ配布を行います。 ・不定期	0	0
20	きぼうファーム	平成28年度	7 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取組の一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的とします。	2: 障害児・者		・ケアプラザは後方支援として実施します。 ・障害児者余暇支援事業として、野菜の収穫祭、わくわくスポーツ会を実施します。 ・年3回 6月、11月、1月	1	38
21	障害理解講座	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障害について多くの地域住民に知っていただき、啓発を行う事を目的とします。	5: 地域		講師を招いて「障害の理解と関わり方」について講演を行います。 年1回	0	0
22	旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作る。	5: 地域		・ケアプラザ機能の周知 ・旭区13ケアプラザで協力事業の紹介等実施する。	0	0
23	ベビーマッサージ	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ベビーマッサージを通じて母子の愛着関係をはぐむことで、健全な親子関係を築くことを目的とします。	3: 養育者及び乳幼児		・初めに笑いヨガをしてお母さんにリラックスしてもらい、その後ベビーマッサージを行う。 ・旭区こども家庭支援課の地区担当の保健師に来てもらい、育児相談も行う。	0	0
24	ミ・デイ	平成21年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	ハンドベルや歌、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会などの介護予防の要素を盛り込んだ事業への月に1回程度の参加を通して、高齢者の閉じこもりを防止し、仲間づくりの機会にすることを目的とします。	1: 高齢者		季節にちなんだテーマに沿って、音楽活動や工作活動、体操およびレクリエーション活動、外出レクを行い、閉じこもり防止と外出の機会・他者交流の機会の提供・介護予防に取り組んでいきます。 毎月第2月曜日(8月除く)年11回実施。	4	62
25	介護者の集い	平成21年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、施設協力医のアドバースも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5: 地域		前半はお茶を飲みながら介護者同士の交流や情報交換を行います。後半は介護に関する専門職などを招きミニ講座を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなれる場づくりを行っています。 奇数月第2水曜日、年6回実施。	4	24

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
26	介護者の集いサテライト(仮)	令和2年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、参加される方向士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5: 地域		駅に近いバス通り沿いコミュニティカフェ「希望カフェ」を借りしサテライト式にて実施。お茶を飲みながら介護者同士の交流や情報交換等を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなれる場づくりを行っています。 偶数月第4金曜日、年5回実施予定。	0	0
27	希望が丘南地区買い物支援プロジェクト	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	買い物する場所が遠く、また免許返納などで買い物に困難なエリアの方達が少しでも外出でき、目で見えて買い物できる機会を増やす事ができ、地域のコミュニティの場となるような活動を目指します。	5: 地域		昨年度10月より移動販売の試行販売を開始し、今年度6月まで延長。9か月の様子とアンケート結果をみながら継続と新規の場所などの決定をプロジェクトメンバーを中心に話し合っていく。	1	12
28	希望が丘地区地域でちょっとした困りごとについて考える	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	地域住民からのちょっとした困りごと、一人暮らし高齢者の孤立化などの課題を提案し、地域で考え、地域住民が課題解決に向けての活動の創生を目指すことを目的とします。	5: 地域		昨年度実施した地域福祉アンケート結果を各自治会に伝え、アンケート結果から読み取る課題の認識には各自治会ごとに違いがあったため、連合自治会の定例会などに定期的に参加し、話し合いの場を作り、協議体へと発展させる。	0	0
29	きぼうタウンプロジェクト	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	一昨年度立ち上がった「きぼうタウンプロジェクト」。活動を通し、地域の方が認知症になっても安心して暮らしていけるまちを目指し、認知症への理解の啓発、気軽に安心して相談できる場となる活動を目的とします。	5: 地域		認知症カフェ2か所の運営と、認知症サポーター養成講座での啓発活動、認知症ケアの映画の上映等の活動を支援します。また、勉強会を開催し、活動の手助けとなる支援を行います。 年3回程度実施	4	28
30	サロン連絡会	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	生活支援体制整備事業の啓発をふまえ、事業の目的の一つである「居場所・交流」の場であるサロンの担い手や次世代の担い手の創生や担い手と施設運営者等との交流を目的とします。	5: 地域	6	旭区生活支援コーディネーターと協働して旭区エリア内でのサロン連絡会(生活支援体制整備講演会(仮))を開催します。また、必要に応じてケアプラザエリア内の連絡会を開催します。 旭区エリア内 年2回実施	0	0
31	ステップ1・2希望の風	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	介護予防の啓発、集いの場の運営など地域の担い手としての活躍や、社会参加の場の提供を目的として一昨年度創設したスクエアステップ(介護予防・認知症予防)のボランティア団体の活動の支援、活動の場の提供を行います。	5: 地域		「みんなの集いの場」の運営、生活支援・介護予防補助事業サービスBの登録団体である希望カフェの活動支援等の活動の充実を目的とし、ミーティングや勉強会を開催します。 ●ミーティング(年6回) ●活動月2回程度 ●希望カフェ支援(月1回)	6	69
32	ミュージックボランティア音楽る	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢者の集う場所やサロン、また子供たちの集う場所などで「音楽で地域を元気に」を目的として一昨年度創設したミュージックボランティア。地域の担い手として、また社会参加のきっかけづくりとして、引き続き活躍の場の提供、活動の支援を行います。地域とボランティアの連携も図ります。	5: 地域		老人会やサロン、地域のデイサービス、子供会また認知症カフェや集いの場、自主事業などでの活動支援、活動を充実させるためのミーティングや勉強会を開催します。 ●ミーティング 毎月第1月曜日 ●活動 月4回程度	18	147
33	うたごえ「音楽る」	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	ミュージックボランティア音楽るを中心に、外出のきっかけづくり、社会参加の場を目的とした身近な地域の交流の場の提供をケアプラザから遠い地域に向け行います。	5: 地域		今年度は移動販売の集まりの場所である善部町住宅と東希望が丘ハウスの集会所2か所を拠点として、2か月に1回程度定期的に展開する。 実施回数未定	2	44
34	みんなの集いの場支援	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	エリアを確定しない教会(付属の幼稚園)の集会室を利用し、誰もが気軽に参加できる目的で「あけがた」みんなの集いの場」について、地域住民、ボランティア団体が自主的に運営できることを目的とし、支援を行います。	1: 高齢者	3, 4, 5	ステップ1・2希望の風とコーヒーボランティアが中心となり、「おいしいコーヒーを飲み」、「簡単な運動(スクエアステップ)ができ」、「楽しくおしゃべりができる』『みんなの集いの場』の運営・活動を支援していきます。 毎月第2・第4火曜日 14時～16時	12	214
35	認知症&予防カフェみなとの茶店きっさブルメリア支援	平成29年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	「きぼうタウンプロジェクト」の取組として立ち上がった2か所の認知症&予防カフェにおいて認知症への理解・啓発を連携して行うことを目的とします。	1: 高齢者	5	「みなとの茶店」と「きっさブルメリア」の後方支援として、運営支援、活動支援を引き続き行います。 みなとの茶店毎月第1水曜日 きっさブルメリア毎月第3土曜日 ともに14時～15時半	12	181
36	横浜銀行希望ヶ丘支店地域貢献活動支援	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	多様な主体による様々な生活支援体制整備の充実を図ることを目的とし、地域の中心にある横浜銀行の地域貢献活動の支援を行い、地域住民の課題解決や情報提供、集いの場の提供などの支援を行います。	6: 事業者	5	地域住民に向け、お金に関する困りごとや疑問についての話を座談会の形で横浜銀行内で実施(年3回予定、1回目は8月に実施)。ケアプラザまで遠いエリアの住民に向け集える場の提供などを行います。ケアプラザは企画相談や、地域への周知など、活動の支援を行います。 年3回程度実施	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
37	生活支援・介護予防補助事業サービスB 希望カフェ支援	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	生活支援・介護予防補助事業サービスB(通所支援)の取組に手を挙げた希望が丘商店会中にあるコミュニティカフェ「希望カフェ」の活動支援を行い、旭区役所、旭区社協と連携しながら事業を円滑に進められるよう、また、地域に根差した活動となれるよう、支援を行います。	6:事業者	5	事業の理解を深めてもらうため、スタッフ向けの勉強会の開催、介護予防プログラムのボランティア派遣、地域とのネットワークの構築等、活動に向けての支援を継続して行います。 介護予防プログラム活動支援 第2水曜13:30~ 定例会・勉強会 年3回程度実施	9	42
38	大人のための音楽教室	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	音楽を通じての介護予防の啓発とケアプラザへの外出のきっかけづくりを目的として開催。また、講師を地域の方をお願いすることで、多様な主体と地域との繋がりを深める。	5:地域		昨年度3回コースで予定していた事業だが、新型コロナウイルス拡大防止のため、3月に予定していた ③ハーモニーで介護予防が延期となり、終息状況をみて開催する。	0	0
39	コミュニティカフェ連絡会(仮)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	南希望が丘地域ケアプラザエリアには現在4つのコミュニティカフェがあり、個人的に集いの場などを立ち上げたいという相談も増えている。新しく始める方への情報提供や横の繋がりを、地域との繋がりの構築を目的とする。	5:地域	6	ケアプラザにて情報共有や勉強会ができる連絡会を開催。お互いのカフェの見学会なども来年度に向け計画する。 年1~2回(不定期)	1	7
40	無料法律相談	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対し、成年後見制度の手続きや遺言作成、相続問題等について法律の専門職の支援を身近に受けることができる機会を提供すると共に、ケアプラザと権利擁護機関との連携を強化することを目的とします。	5:地域		司法書士の先生による無料の個別法律相談を実施していきます。 奇数月第2水曜日	5	6
41	わくわく子どもクッキング	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のお子様や親子を対象に余暇支援として、食育の観点から、作る楽しみを感じ達成感と自身で作ったお菓子を楽しむことを目的とします。	4:子ども・青少年		お菓子作りの前に、材料や作る工程を説明し講師の指導ですべて一緒に作ります。作り上げる楽しみを感じてもらおう。8月、9月、10月、11月に1回ずつ開催。	4	45
42	伝筆ワークショップ	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	年齢に関係なく地域住民同士で交流することが出来る。地域の居場所作り、来所のきっかけ作りを目的とする。	5:地域		講師の指導で筆の練習から参加者が思い思いの文章や言葉をハガキや扇子に書いていきます。密にならないよう感染症対策に努めて実施します。 9月12日(土)開催	1	6
43	認知症講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の実情を知り、地域住民が地域の問題として捉えることができるよう、認知症についての正しい理解の普及・啓発を目的とします。	5:地域		認知症の早期発見と予防について、認知症の実情を交えケアプラザ協力医による講座を実施します。 年1回実施 10月	1	20
44	父親育児支援講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	悩みや情報の共有が出来るような場を作り、地域で繋がりが持てることを目的とする。仕事以外で親しくなれる父親同士の交流を助け、また父親限定とせずご夫婦でケアプラザに足を運ぶきっかけ作りをする。	3:養育者及び乳幼児		11月1日、11月21日に実施。1回目は「父親育児はじめの一歩」として身体を使った遊び、2回目は「イライラしない子育てとパートナーシップ」について情報の共有や参加者同士の交流を深める。	2	18
45	子どもの才能発見講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	悩みや情報の共有が出来るような場を作り、地域での繋がりが持てるようにすることを目的とし、お子さまを通して地域の保育者同士の交流の輪を広げる場とする。	3:養育者及び乳幼児		11月30日に実施。前半は子育て心理士の方による個性診断を実施。お子さまの個性診断を通し、母親同士の交流を深める。	1	19
46	キッズの料理教室	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のお子様を対象に余暇支援として、食育の観点から、作る楽しみを感じ達成感と自身で作った料理を楽しむことを目的とする。	4:子ども・青少年		11月20日にピザ作り教室を実施。コロナ感染拡大の対策として、親子ではなく原則としてお子さまだけの参加。材料や作る工程を説明し講師の指導ですべて一人で作り、作り上げる楽しみを感じてもらおう。	1	12
47	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	旭区版エンディングノートと一緒に書いていく過程を通して、これまでの生活を振り返り、これからの生活を安心して豊かに過ごせるようサポートしていくことを目的とします。	5:地域	1	旭区版エンディングノートの書き方の説明に合わせて、健康寿命・介護保険制度・成年後見制度・葬儀・相続・お墓等についても触れ、参加者と共にノートへの理解を深め、記入を進めて完成させていきます。 10月~12月実施	4	24
48	ほうゆう会エンディングノート活用講座	令和2年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	希望が丘南地区老人会ほうゆう会において、エンディングノートの書き方や終活についての理解を深め、これからの生活を有意義にしていけるようにする。	1:高齢者		旭区版エンディングノートの書き方の説明と共に、介護保険・住まいの選び方・財産管理・相続等終活についても説明し、老後の生活の不安解消とこれからの有意義に暮らしていくことを目指します。12月実施	1	15
49	食の不安によりそう時間	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民の子育て世代に向けて、お子様の食事についての不安や悩みを吐き出せる場所であることを目指す。講師や参加者との交流の場であることを重視し、参加者同士が繋がっていけるような居場所を提供する。	3:養育者及び乳幼児	5	自分の思いを吐き出せる場であり、講師の答えをただ聞いて帰るような場にとどまらず、自分の思いを伝える他のママの意見も聞き、思いを共感し合えるような時間を過ごすことで参加者同士の繋がりを作る。 1月・2月、計2回実施。	2	30

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
50	子育てサロン メープル	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	親子の居場所としてケアプラザを知ってもらい、参加者同士で悩みを共有することで育児の孤独感や不安感を解消し、保護者同士の繋がりを築く。また、ケアプラザが育児や生活での悩みが話せる場所であること、必要があれば専門の機関と繋がる窓口であることを知ってもらう。	3：養育者及び乳幼児		会の前半では講師をお呼びし親子ヨガを実施、後半で担当の保健師による参加者全員での育児相談を行った。会の終盤には個別の相談も受け付けた。2月25日実施。	1	12